

令和6年度学校だより



三川内中心ひとつに

「全員が毎日楽しく登校できる学校づくり～継続～」

校訓「自主・誠実・健康」

NO.14

令和6年6月14日（金）

文責：校長 大田勝明

令和6年度佐世保市中学校体育大会の感想を紹介します。

3年 秋元愛音（剣道）

市中体を通して思ったことは、毎日こつこつ練習することは、とても大切だということです。毎日、練習することにより、自信がついて試合でいい結果が出せたからです。40分間試合をして、きれいな胴で勝ち上がった乙華を見てすごく感動しました。（中略）仲間との絆や責任感をもって一生懸命やるということ、あらためて今回肌で感じることができました。（中略）親に感謝を伝えたいです。

3年 今村結衣（バレーボール）

私にできることは、声出しとサーブとレシーブしかありません。この3つを全力で行いました。サーブは強気で攻めていって、そして決まったら全力で喜びました。三川内の応援やコートやベンチが一気にワァァッ！ってなるのが、楽しくて楽しくて仕方がありませんでした。（中略）私たちのプレーが応援してくれる人を感動させることができたそうなのでとても良かったです。

3年 川中悠雅（卓球）

ベスト4を決める三川内 VS 早岐の試合の時間が一番心に残った。一人一人が試合に集中し、1点を取るたびに「ワー！！」という歓声が周りから聞こえてくる。これが卓球なのかと思い感動した。（中略）市中体を通して、仲間と協力することの大切さを知ることができた。今までで一番心が熱くなって楽しかった。

3年 藤 希空（野球）

自分勝手なプレーをして負けたことはあったし、自分のプレーがうまくいなくて落ち込んだまま試合に臨むこともあって、チームスポーツは自分のことだけを考えてやっちゃいけないと分かりました。（中略）僕にとっての野球は、僕自身の人生を変えたものでありとてもおもしろいスポーツでした。これからは、将来のためにも勉強を頑張り、良い仕事につけるようにしていきたいです。

3年 三宅玲音（総合開会式）

800人参加の中で学校プラカードを担当させていただきました。練習時、手に持っている学校プラカードの重みはずっしりと伝わってきて、足のあげ方や一つ一つの動作など、代表としての責任を感じながらリハーサル、本番をしました。本番の圧に少し負けそうでしたがベストを尽くして頑張りました。（中略）これから、いろいろな物事や係にチャレンジして、もっともっと得るものが増えていくように努力していこうと思いました。

3年 山崎夢愛（応援）

今年は自分の仲間（同級生）が最後の市中体だったので、今までよりも特別な思いだった。いろいろな部活が様々な結果を残していて、選手たちも悔しい気持ちになった人もいれば、嬉しい気持ちになった人もいると思う。その悲しさや嬉しい気持ちを自分事として感じる事ができたので嬉しかった。（中略）市中体を通して、仲間と団結することの大切さを改めて学ぶことができた。3年生が団結すると、他の学年も団結することができると思う。3年生からいい雰囲気を作って、もっとより良い学校を目指していきたいと思った。

それぞれが楽しみ学んだ令和6年度市中体完結